

話し聲がする。二人の小學生らしいのが自轉車を持つて、上方から降りて來た。

俺は暗示を與へられたやうだつた。

子供なれば俺が亂暴しないと思つて、策略を授けられてゐるのだ。

俺は先に降りて來た小學生の、自轉車を擱んだ。

「俺に借せ、アガン」俺は怒號してオドかしたのだ。

二人の小學生は自轉車を放つて、坂を轉ぶ様に降りて逃げて行つた。

自轉車のサドルの所に、布呂敷包みが詰え付けてある。

俺は若しそれが、小學校の讀本や鉛筆入れなれば、間違ひなく彼等は學校へ行く途中に、遇然俺に逢つたのだと思つた。

けれども暗示を與へられたと云ふのは『辨當を持つて來ました』と、小學生が言つたやうに俺は思つたのだ。

で村中大騒ぎになつてゐるのだ。

俺が豆腐やでめしをネダツてから、何でも腹を太らしてやつて、眠氣を催ほさせるか、飢死